

【別紙】

生態影響に関する化学物質審査規制/試験法セミナー プログラム(変更後)

平成19年1月19日(金)

ベルサール九段 イベントホール

時間	内容	講演者等
9:30～	受付	
10:00～10:05	開会挨拶	環境省
【第1部】化学物質審査規制に関する動向		
10:05～10:40	化審法施行状況及び化学物質審査規制に関する国際動向	森下 哲 環境省環境保健部化学物質審査室長
10:40～11:20	OECDテストガイドラインに係る動向と今後の見通し	戸田 英作 環境省環境保健部環境安全課(OECD/テストガイドライン作業部会議長)
11:20～12:10	海外のQSAR開発・利用状況及び国立環境研究所における生態毒性QSARモデル開発状況	大井 通博 環境省環境保健部化学物質審査室 白石 寛明 (独)国立環境研究所環境リスク研究センター長
12:10～12:40	輸送化学品の安全性評価に係る国連の取組	若林 明子 (独)国立環境研究所特別客員研究員
12:40～14:00	休 憩	
【第2部】生態毒性試験法に関する技術的事項		
14:00～14:50	化学物質審査規制法に基づく藻類生長阻害試験法の改正内容について	坂西 義史 環境省環境保健部化学物質審査室 菅谷 芳雄 (独)国立環境研究所環境リスク研究センター主任研究員
14:50～15:20	試験困難物質の試験法について	斎藤 穂高 (株)三菱化学安全科学研究所横浜研究所長
15:20～16:00	魚類急性毒性試験等における毒性症状の記載について	鑓迫 典久 (独)国立環境研究所環境リスク研究センター主任研究員
16:00～16:25	総合質疑	
16:25～16:30	閉会挨拶	(独)国立環境研究所

* 講演時間には10分程度の質疑応答が含まれます。

* プログラムの内容及び講演者は予告なく変更になることがあります。御了承ください。